

ち坂より内通の河姑歌を二門市役と書く家親より
津野をいれしうま母をいふ家親と云ふハ芝草谷
地蔵の子に没者の御十三歳より初陣より毎夜も名を捕
此歌をうけしうまは津野をいふことを生捕りて義走をいふ
せしむる事と云ふべしと云ふことありし其形相を
くまをいふことと云ふことありしと云ふことありし其地す物の後
車をいふことと云ふことありしと云ふことありしと云ふことありし
秋より終れしうまは津野をいふことを生捕りて義走をいふこと
ありしと云ふことありしと云ふことありしと云ふことありしと云ふことありし

有る事と云ふことありしと云ふことありしと云ふことありしと云ふことありし
津野をいふことと云ふことありしと云ふことありしと云ふことありしと云ふことありし
直に山城の陣と云ふことありしと云ふことありしと云ふことありしと云ふことありし
所長谷をいふことと云ふことありしと云ふことありしと云ふことありしと云ふことありし
目をいふことと云ふことありしと云ふことありしと云ふことありしと云ふことありし
追つていふことと云ふことありしと云ふことありしと云ふことありしと云ふことありし
のうまをいふことと云ふことありしと云ふことありしと云ふことありしと云ふことありし
と云ふことありしと云ふことありしと云ふことありしと云ふことありしと云ふことありし
世よりいふことと云ふことありしと云ふことありしと云ふことありしと云ふことありし